

ProScan 自動アップデート実施のお知らせ

2017年1月17日以降、下記の ProScan 製品を対象に自動アップデートを実施いたします。

【対象製品】

- ・ ProScan for Mailserver (Linux, FreeBSD, Solaris sparc)
- ・ ProScan for Filescanner (Linux)
- ・ ProScan for ORCA

【アップデート内容】

上記の ProScan 製品で使用しております、ドイツ Avira 社製のアンチウイルスエンジン (savapi) のライセンス管理方法変更に伴い、下記の ProScan モジュールを更新します。

- ・ proscan (savapi を起動するランチャモジュールで、製品によっては搭載されていません。)
- ・ proscanup (アップデート用のモジュールです。製品によっては名前が異なります。)

本アップデートは、ProScan 内部でのライセンス管理方法が変更されるのみで、製品の機能変更やバグフィックス等は含まれていません。現在お使いの ProScan ライセンスはそのまま有効となりますので、お客様にてライセンス更新作業等は必要ございません。

【アップデート方法】

自動アップデートにて実施いたします。

下記のスケジュールにてアップデートデータの公開を行います。その時間以降に通常のアップデートが実施されますと自動更新されます。

- | | |
|--|------------------------|
| ・ ProScan for ORCA | 平成 29 年 1 月 17 日 11:00 |
| ・ ProScan for Filescanner (Linux) | 平成 29 年 1 月 18 日 11:00 |
| ・ ProScan for Mailserver (Linux, FreeBSD, Solaris sparc) | 平成 29 年 1 月 19 日 11:00 |

自動更新されるためには、モジュールの自動反映設定が有効になっている必要があります。デフォルトでは有効となっているため、ProScan インストール時から設定を変更されていない場合は何もする必要がございません。何らかの理由で無効にしている場合には、設定変更を行って頂くか、手動によるアップデートをお願いいたします。

本アップデートが実行されなかった場合、1月25日以降スキャンが実行できなくなります。ProScan for Mailserver をご利用の環境ではメール送受信ができなくなります。モジュールの自動反映設定が無効になっている可能性がある場合は、1月25日までに設定の確認、変更、もしくは手動アップデート実行をお願いいたします。



【設定の確認方法】

proscan.conf または filescan.conf の[updater.options]セクションのReloadApplicationパラメータが「yes」となっていれば自動更新が有効となっています。「no」となっている場合には無効ですので、変更または手動更新をお願いいたします。

【手動更新の方法】

コマンドラインで root になって以下のコマンドを実行してください。

/opt/proscan/bin/proscanup -Vr (FreeBSD 環境では/usr/local/proscan/bin/.proscanup -Vr)

または Filescanner 版の場合には

/opt/filescan/bin/proscanup -Vr

となります。

【アップデート完了の確認方法】

アップデートの実施後、以下のコマンドを実行してモジュールのバージョンを確認してください。

proscanup -v または proscan -v

ProScan for Mailserver は 6.0.4.7、ProScan for Filescanner は 6.0.3.7、ProScan for ORCA は 6.0.7.5 となっていることを確認してください。

以上